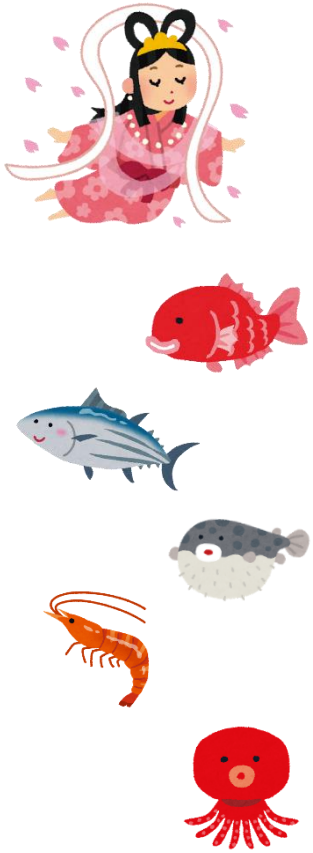
こえに だして よみましょう。

「うらしまさん、ようこそ おいでくださいました。
せんじつは かめの いのちを おたすけくださいまして、まことに ありがとうございます。
なんにも おもてなしは ございませんが、
どうぞ ゆっくり おあそびくださいまし」
と、おとひめさまは いって、ていねいに
おじぎしました。やがて、たいを かしらに、
かつおだの、ふぐだの、えびだの、たこだの、
だいしょう いろいろの おさかなが、めず
らしい ごちそうを やまと はこんできて、
にぎやかな おさかもりが はじまりました。



「浦島太郎（うらしまたろう）」より